

学校だより 2月号



# 寺尾小だより



<学校教育目標>「自ら進んで 学ぶ子 仲よくする子 きたえる子」

<2月の生活目標>「手洗いうがいをしっかりしよう」

川越市寺尾979-2 TEL 049-245-9555 FAX 049-240-1765

川越市立寺尾小学校  
令和4年1月31日(月)

## 「一寸千貫 (いっすんせんかん)」 ～真っすぐな姿勢～

校長 長澤 誠

新型コロナウイルスが猛威をふるっています。埼玉県では陽性者の増加が止まりません。本校においても拡大防止のために、学校公開ウィークの中止、おはようマラソンやなかよし清掃を見合わせたりする等の対応を取っています。誰もが罹患する可能性があります。罹患した場合には、重症化を防ぐよう静養に努め、回復に万全を期しましょう。以前紹介しましたが、コロナ禍で生まれた差別や偏見を防ぎ、たとえウイルスに感染してしまっても地域や学校の中で笑顔の生活を取り戻せるという考えの「シトラスリボンプロジェクト」があります。愛媛県で始まったこの活動は、一時的に治療のために離れても、戻ってきたときには「ただいま」「おかえり」とお互いが言い合え、お互いが受け止める雰囲気を醸成しようという活動です。寺尾地区でも実践していきましょう。

また、学級閉鎖等による出席停止の場合には、オンライン学習等の措置を講じます。引き続き、同居家族を含めた健康観察、手洗い・うがい・マスクの着用、食事・休養・睡眠等、予防や感染防止にご協力をお願いいたします。

さて、今月は「一寸千貫 (いっすんせんかん)」の話題です。これは大工さんが大切にしている言葉です。私の叔父が大工さんであったこともあり、叔父から、よくこの言葉を聞いていました。昨年秋頃より、我が家の近くで新築住宅の建築工事が始まりました。大工さんがコツコツと仕事をしています。そこで、先日休憩中に話しかけてみました。その話から感じたことを紹介します。

一寸は現在の単位で約3.3cm、千貫は約3750kgです。一辺が3.3cmの柱でも真っすぐ垂直に立てて使えば、千貫(約3750kg)にも耐えられる。柱を真っすぐ垂直に立てることで重い屋根にも耐えられる頑丈な家になるとのことです。3.3cm四方の柱に象(約4トン体重)が乗るイメージですね。土台となる基礎の部分と、基礎に対し真っすぐ垂直に柱を組んでいくことが何より大切だと話されていました。

このことを私達の生活に置き換えてみます。背筋をピンと伸ばし、胸を張ってしっかり前を見る姿勢をとることで、体の中で一番重い頭を支えることができます。頭の重さは体重の約10%と言われていたから、50kgの体重の人では約5kgの重さを支えることになります。背筋が曲がったり、姿勢を崩したまましていると健康にも影響が出ます。授業中の姿勢はどうでしょうか？

心の面についても同じことが言えます。学校生活の中では、良いことや楽しいことばかりではありません。時にはつらいことや苦しいこと、嫌なことや逃げ出したくなることもあります。真っすぐで強い心をもっていると、それらから逃げずに、心も折れることなく立ち向かうことができるのではないのでしょうか。本校の子供達には、そのような心をもった人になってほしいと思います。

正しい姿勢でしっかりと前を見て物事を見据えることで、心の姿勢も整えられると感じます。ご家庭でも話題にしていただければ幸いです。

